

市議会だより

発行 埼玉県日高市議会(〒350-1292) ☎042-989-2111(内線4402・4403)  
編集 議会だより編集委員会



# ひだか

平成30年8月1日 No.102



**市民の安心・安全を守るために!**  
第14回 日高市消防団消防操法大会

平成30年第2回（6月）定例会審議結果

○・賛成 ×・反対

議案番号	議員名 議案等の名称	審議結果	鶴声会		改革フォーラム		絆の会		公明党		志正会		清風会		秋の会		日本共産党	賛成	反対
			吉本新司	稲浦巖	清水孝晏	齋藤忠芳	安藤重男	大澤博行	石井幸良	鈴木健夫	池田和子	森崎成喜	橋本利弘	山田一繁	大川戸岩夫	平井久美子	田中まどか		
第33号	平成30年度日高市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
第34号	平成30年度日高市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
第35号	日高市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
第36号	日高市税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
第37号	日高市介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
第38号	市道の路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
第39号	市道の路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
第40号	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
第41号	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
第42号	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0

提出議案と  
審議結果

(議案第33号)

平成30年度日高市一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2千924万2千円を追加し、補正後の総額を、それぞれ175億7千924万2千円としたいというものです。

歳入については、国庫支出金のうち、介護保険低所得者保険料軽減負担金を増額、生活困窮者就労準備支援金事業費等補助金を増額、県支出金のうち、介護保険低所得者保険料軽減負担金を増額、繰入金のうち、この補正予算額の歳入歳出差引の調整を行うため、財政調整基金繰入金を増額するものです。

歳出については、総務費のうち、交通安全施設整備・維持管理事業で、平成29年度のリース方式による道路照明灯のLED化に伴い、料金の算定基準日等との関係から、概算払いとして支払う電気料に不足が生じるため、光熱水費を増額、民生費のうち、介護保険特別会計繰出事務で、低

所得の第1号被保険者の保険料軽減分に対して繰出金を増額、ちびっ子広場維持管理事業で、新堀地区ちびっ子広場の土地返還に係る費用を追加、低所得者福祉援護事業で、生活保護基準の見直しに対応するため、生活保護システム改修委託料を増額、土木費のうち、高麗川駅東地区整備事業で、東口開設に向けた測量及び基本設計を行うための委託料を追加したいというものです。

(全員賛成で原案可決)

(議案第34号)

平成30年度日高市介護保険特別会計補正予算(第1号)

低所得の介護保険第1号被保険者の保険料に係る公費負担措置を実施することに伴い、財源を更正したいというものです。

(全員賛成で原案可決)

(議案第35号)

日高市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改

**正する条例**

旅館業法の改正に伴い、字句の整理を行いたいというものです。

(全員賛成で原案可決)

**日高市税条例の一部を改正する条例**

地方税法等の一部を改正する法律が公布され、固定資産税の課税標準の一部について、一定の範囲内において市独自にその特例率を定めることとなったことから、これを定めたいというものです。

(全員賛成で原案可決)

**日高市介護保険条例の一部を改正する条例**

低所得の介護保険第1号被保険者の保険料に係る公費負担措置を実施するとともに、介護保険法施行令の改正に伴う所要の改正を行いたいというものです。

(全員賛成で原案可決)

**市道の路線の認定について**

市道(議案第38号) 道路用地の一部払下げに伴い、路線の起点に変更が生じることから、新たに1路線を認定したいというものです。

(全員賛成で原案可決)

**市道の路線の廃止について**

道路用地の一部払下げに伴い、認定路線1路線の廃止をしたいというものです。

(全員賛成で原案可決)

**専決処分の承認を求めることについて**

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことにより、緊急に日高市税条例等を改正する必要があるため、平成30年3月31日に日高市税条例等の一部を改正する条例を専決処分したので、その承認を求めるものです。

(全員賛成で承認)

**専決処分の承認を求めることについて**

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことにより、緊急に日高市都市計画税条例を改正する必要があるため、平成30年3月31日に日高市都市計画税条例の一部を改正する条例を専決処分したので、その承認を求めるものです。

(全員賛成で承認)

(議案第42号)

**専決処分の承認を求めることについて**

地方税法施行令の一部を改正する政令が公布されたことにより、緊急に日高市国民健康保険条例を改正する必要があるため、平成30年3月31日に日高市国民健康保険条例の一部を改正する条例を専決処分したので、その承認を求めるものです。

(全員賛成で承認)

平成30年7月豪雨に見舞われた 西日本各地の被災地に対しまして心よりお見舞い申し上げます。一日も早く復旧・復興がされますようお祈り申し上げます。

日高市議会

**自転車事故から身体を守るため、ヘルメットの着用に努めましょう!**

自転車に乗る時はヘルメットをかぶろうね



市では、自転車用ヘルメットの購入費用を補助しています。(問い合わせ先 交通政策課)

# 熱中症にご用心ください!

熱中症が発生しやすい季節です。自分の体調や気象情報に細心の注意を払ってお過ごしください。

水分・塩分補給をこまめに! 睡眠はしっかりと! 食事はバランス良く! 室内では扇風機やエアコン、外出の際には防止や日傘、冷却グッズなどを上手に使いましょう。「このくらいの暑さなら大丈夫」と我慢や油断をしてはいけません!



市政のここが聴きたい！

# 一般質問

9議員が登場

傍聴者延べ113名

一般質問とは、議員が市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来の方針などを質問し、説明を求めるものです。

※一般質問の様子もホームページで録画配信中ですのでご覧ください。

**問** 市民には健康寿命を延ばし、元気で豊かな人生を築いて欲しい。健康寿命の基本的な考え方は、

**答** 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間を健康寿命と定義している。健康長寿社会の実現に向け、生活習慣病の予防と早期発見、運動、歯の健康、心の健康づくり、食生活改善などに取り組み、

**2025年問題への対応は**

人の一生は限られているが、人の思いは世代を超える。私達は日高の未来に対し、より良いものを伝えていく責任がある。2025年問題とは、あと7年で戦後世代の最もボリュームが厚い、団塊の世代が75歳以上になり、人類史上経験したことのない超高齢社

会に突入すること。その2025年の高齢者数及び高齢化率の見込みは、



健康寿命を延ばし、  
元気で豊かな人生を

山田 一繁

**答** 高齢者数は平成29年の1万7千374人に対し、2025年には1万8千398人、1千24人の増加。高齢化率は平成29年の30.8%に対し、35.0%、4.2ポイント上昇すると推計。国の高齢化率よりも5ポイント高くなる。

**問** 増大する社会保障費の財源確保は今後の大きな課題。介護給付費の現状と将来の見込みは、


**答** 平成28年度決算の保険給付費は約31億2千万円を支出。2025年度には約54億2千万円に達すると推計。

**問** 政府推計では2040年の社会保障給付費が190兆円になる。その頃85歳以上の高齢者人口は現在の2倍以上になる見込み。そのことから2025年問題のその先も、厳

しい状況が待っている。今後、介護や医療のかじ取りをどのように進めていくのか、市長の考えは、




つなげよう明るい未来



**誰もが読書を楽しめる  
環境づくりについて**

池田 和子



**野生動物対策について**

齋藤 忠芳

**問** 市立図書館のＬＬブック蔵書状況と今後の取組は。

**答** 昨年２月に１冊購入。今後、拡大文字図書と共に読みやすい図書資料をそろえていきたい。

**問** ＬＬブックの周知について見解は。

**答** 12月3日から9日までの障がい者週間にあわせ、ＬＬブックを数冊購入して展示を行い周知していく。

**問** ＬＬブックコーナーを設置する考えは。

**答** 設置の予定はない。



が、今後、ＬＬブック蔵書が増えた際は、内容などに合わせて、わかりやすい配置を心がけていく。

**学校現場での心肺蘇生教育について**

**問** AEDを屋外に設置する考えは。

**答** 防水、防塵、いたずら防止等、管理上の難しさがあり現在のところ計画はしていない。職員玄関付近に設置するよう工夫をし、コンビニや公民館など学校付近のAED設置場所の案内も進めていく。

**問** 教職員へのAED講習実施状況は。

**答** AEDの使用法を含む心肺蘇生法の研修会を校内で実施。救命講習会の指導者となることのできる応急手当普及員の育成を進めており、昨年度、一昨年度と8名ずつの教員が受講。

**防災対策の推進について**

**問** 公共施設のエレベーターに防災椅子を設置することにについて、見解は。

**答** 防災椅子は、簡易トイレや飲料水などの防災用品が収納されており、非常時には大変有効なものである。今後、設置に向け検討する必要があると考えている。

**災害対応型自動販売機について**

**問** 設置状況は。

**答** 市役所、各公民館など26機設置。災害時には、販売機内の在庫品を無償で提供、飲料水の優先的な供給を行うことになっている。

**問** ハザードマップへ設置場所を表記する考えは。

**答** 平成27年にハザードマップを作成しているが、今後、マップを更新する際には表記を検討したいと考えている。

**問** 環境及び農業への被害の実態は。

**答** アライグマ、ハクビシン、イノシシ、ニホンシカの被害報告がある。生活環境被害については、アライグマによる被害報告が多く、住宅の庭や家庭菜園の被害、また住宅の屋根裏等に住みついてしまい糞尿等に汚損された家屋被害等がある。イノシシによる生垣の損壊被害も見受けられる。農作物被害については、イノシシの被害が多数あり、昨年度中、職員が確認した被害面積は1万2千660㎡あり、実際にはもっと多くの被害があると考えている。

**問** 野生動物被害対策は。

**答** 鳥獣被害を防ぐ有効な方法は、捕獲と防除である。捕獲については、ハクビシン、アライグマなど小型の鳥獣に対し、

被害のあった方からの捕獲依頼に基づき、箱わなの貸出しと設置を行っている。また、大型の鳥獣に対しては、日高猟友会へ有害鳥獣捕獲の業務を委託し、わなによる捕獲と銃器による捕獲を実施している。昨年度の捕獲実績は、イノシシ21頭、ニホンシカ11頭、ハクビシン27頭、アライグマ127頭の計186頭となっている。防除については、防護柵・電気柵の設置が有効である。市では、昨年度から電気柵の購入費用に対して補助金を新設し

て、効果をあげている。

**山林保全対策を！**

**問** 環境保全面から山林保全対策をどう考えるか。

**答** 市では毎年埼玉県の彩の国みどりの基金を活用して、市内の森林保全を行っている。国としても森林保全に関する仕組みが大きく変わる時期である。具体的には、平成31年度税制改正において、森林環境税及び森林環境譲与税が創設される。国税であり、国民一人年額千円を個人住民税と併せて平成36年度より徴収される予定である。森林環境譲与税は、法令上用途が定められており、市が行う間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発、また県の実施する森林整備等の費用に充てなければならぬとされている。



箱わなによる対策



男女共同参画推進について

平井 久美子

**問** 平成30年度男女共同参画週間の取組は。

**答** 「走り出せ、性別のハードルを超えて、今」をキャッチフレーズとして、県などと協力して男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動を実施。日高市総合福祉センター高麗の郷のエントランスにおいて「考えよう！わしたたちの働き方、考え方」をテーマに、子育て総合支援センターめぐめくを利用される若い方々にもパネルと政治分野における男女共同参画に関する法律についてのポスターを掲示し、男女共同参画の推進についての関心と理解を促していく。

無戸籍者について

**問** 何らかの事情で出生届が出されていない、無戸籍者の実態把握は出来ているのか。

**答** 戸籍に記載がない無戸籍者については、社会



無戸籍の方へ  
あきらめないで  
※法務省リーフレット

生活上様々な不利益があるほか、各種の行政サービスを受ける上で困難が生じる。相談がない場合は、把握することは非常に難しいが、母子健康手帳交付時や保育所入所手続き時等行政サービスの

申請時に把握できる機会に、市民課以外の関係課と情報共有を図り実態把握に努めている。平成26年1件、国に報告している。

法務省が作成している無戸籍の方の戸籍を作るための手引書を指針として、支援を行っている。

障がい者就労支援の充実、拡充について

**問** 就労を希望する障がい者の実態把握は出来ているのか。

**答** 一般就労を目指す障がい者は日高市障がい者就労支援センターえるむに委託し、相談及び就労指導している。

特別支援学校を卒業後に一般就労等への希望がある場合は、在学中の職業実習及び卒業前の就労移行支援事業所による就業アセスメントなどにより実態把握に努めている。



国民健康保険について

佐藤 真

**問** 収入が少ない加入世帯が多いにもかかわらず、保険税が高い国保の問題を解決するには、国庫負担金の増額が欠かせないが、県・国への働きかけをどのように行っていくのか。

**答** 国民皆保険制度の最終受け皿である国保を維持し安定運営していくためには、国の定率国庫負担の割合が高いほど可能になると考える。今までも国の負担金の引き上げを講じるよう埼玉県国保協議会を通じて継続的に要望してきたが、今後も県と相談しながら粘り強く要望していく。

**問** 国が平成35年までの時限措置として設けた特例基金の延長や恒久化のための県、国への働きかけは。

**答** 国の暫定措置である激変緩和と特別調整交付金による追加激変緩和を

合わせる、市に充てられた額は3千400万円となり、一人当たりの納付金が10万7千111円から10万3千313円に減額された。国に激変緩和措置を含め、財政的な支援の拡充について、引き続き働きかけていく。

**問** 子育て世代の国保税引き上げの要因となっている、均等割の減免についての予定は。

**答** 医療費の適正化や保険者努力支援制度に基づいて今年度から法定外繰入金金の解消に向けて取り組みを始めた中で、子ども均等割の減免制度導入は難しい。

**問** 現状で法定外繰入金金を解消しようとする、子どもが多い子育て世代や低所得の被保険者の負担がより重くなる。繰入金金の解消には、定率国庫負担金の増額が欠かせないと考えるが、そのこと

に対する見解は。

**答** 国保を維持、安定運営していくためには、定率国庫負担の割合が高いほど可能になると考える。少子化対策は国家的課題であり、まずは国が財政支援措置を講じるべきと考える。

年度	人当たりの保険料 (円)	平均所得 (万円)
1984	39,020	179.2
2005	80,352	168.7
2016	94,140	138.8

『議会と自治体』2018年6月号より引用

市町村国保の保険料(税)、加入世帯の平均所得





### 高齢者施策について

鈴木 健夫

**問** 生きがい創出や地域の活性化に繋がる高齢者の就業などの社会参画をどう考えるか。

**答** 就労支援は健康寿命や介護予防の観点からも重要だと認識している。今後、ハローワークや県と連携して、高齢者の就労支援の情報を広く周知できるように努める。

**問** シルバー人材センターの仕事の受注内容は。

**答** 民間企業での軽作業、公民館の施設管理、駅前の駐輪場の管理、家庭等の除草作業や植木剪定、ふすまや障子網戸張りなどが多い。

**問** 働き盛りの世代が、がんになると厳しい現実があることの課題認識は。

**答** 就労支援は県を中心に多くの場で取り組んでいる。こうした情報を必要とする、がん患者に届くよう関係機関と協力して周知に努める。

**問** がん患者を支えるネットワークの必要性は。

**答** 患者ごとのサポート体制については、広域的な連携を図りつつ、市民への情報提供を中心として、生活支援に協力していきたい。

**問** 生涯学習の意義と目的は。

**答** 自己の生きがいを見つけ生活を豊かにすることと、地域社会の発展や活性化に貢献していくことだと考える。

### 消防団について

**問** 団員の準中型免許取得に係る公費負担をどう考えるか。

**答** 現在、補助金支出の根拠となる要綱の制定を準備中で今年度の公布、来年4月施行を目指す。



夜間訓練中の日高市消防団と消防ポンプ車

### 街路樹の管理について

**問** 腐朽・根上がりに対する対策は。

**答** 自治会と話し合いながら舗装等の補修をする。

**問** 維持管理計画や改善計画の策定の必要性は。

**答** 策定は将来的には必要だが、今は自治会や事業所の協力をお願いしながら維持管理を進める。



### 通学路の安全の徹底について

田中 まどか

**問** 県の第4期通学路整備計画において、日高市は53か所の改善が必要とされている。計画の進捗と実施見通しは。

**答** 既に33か所が完了し、今年度中に10か所着手する。今年度末に進捗率81%になる予定。

**問** 保護者や地域との情報共有のため、整備計画を学区ごとに公表すべきと思うが。

**答** 日高市分の整備計画及び進捗状況を市のホームページ等で公表していく。

**問** 子ども110番の家のプレート交換や再度の目的説明が必要ではないか。

**答** 現在千764件に協力いただいているが、再確認をお願いしていく。

**問** 不審者情報は、学校関係者だけではなく子ども110番の家には配信すべきと思うが。

**答** 地域との連携は重要なるべく広げられるように検討する。

**問** 事件事故抑止のため、市、事業者、警察三者でドライブレコーダーの映像提供協定を結ぶ考えは。

**答** 今後正式に飯能警察署と協議していく。

### 野外保育園への支援について

**問** 園舎を持たず、野外で保育を行う団体が全国的に増えており、市内にも二団体ある。子どもたちの観点から、既存の保育所や幼稚園以外の選択をした家庭にも支援をすべきではないか。

**答** 国の基準を満たす施設と同様の支援はできないが、関係者から話を聞く機会を増やし情報発信やPRの方法を研究したい。

**問** 日高の自然環境をアピールし、子育て世代を呼び込む施策として支援



野外保育の様子

### 性的マイノリティへの支援について

**問** 学校での配慮は進んでいるのか。

**答** 全教員への周知を徹底する。また、悩みを持つ児童生徒へは発達段階に合わせて配慮していく。

**問** 市の窓口業務を委託している業者への周知は。

**答** 定例ミーティングにおいて理解を促していく。



### 子どもの体力低下に対する課題と対策

橋本 利弘

**問** 学力向上には体力が必要と思うが考えは。

**答** 有酸素運動を行うことにより大脳の発達が進み、記憶力の向上や体を動かした直後は物事に集中できる時間が長くなる。報告されている。

**問** 教育委員会として、知徳・体・コミュニケーションのバランスのとれた子どもを育ててゆく。

**答** 非認知能力とは目標に向って頑張る力、他人とうまく関わる力、感情をコントロールする力など人間の内面の力を意味している。非認知能力を育むことは大変重要であり、市の目指す子ども像、しなやかに、たくましく、未来を拓く、日高つ子をめざし、豊かな心と健やかな体の育成のため、文部科学省の委嘱研究を通して人権教育を推進し、

道徳教育を充実し、ボランティア活動や福祉教育など取り組んでゆく。

**問** 若い体が老化している。口コモタイプシンドロームへの取り組みは。

**答** 成長期から正常な運動器の発育を助けると共に、スポーツ障害を予防することが大切であり学校における運動器検診において異常を早期に発見し、整形外科医で適切な治療を受けることが重要である。学校医の観察により運動器の異常の早期発見に努めている。

**問** 学校現場とNPO法人等の連携による子どもの体力向上の取り組みは。

**答** 子どもの体力向上に向けNPO法人等の協力は教育効果を上げるうえで大変有意義である。学習指導要領や年間指導計画から逸脱することなく新たな取り組みを行う場

合は、余剰の時間などを活用する必要があり、連携する内容を精査し進める。国では生涯スポーツ社会の実現に向け、幅広い世代の人々が総合型地域スポーツクラブの創設や活動基盤強化事業の助成を行っている。市体育協会やスポーツ振興を継続的に活動するNPO法人等と連携し、国の助成制度を活用できるよう情報提供をしてゆく。



夢の実現に向けて頑張る子どもたち



### 高麗川駅東地区の整備について

清水 孝晏

**問** 昨年行われた住民説明会後の事業の進捗状況は。

**答** 幹線6号の交差点部分の物件補償調査、都市計画道路の予定地の不動産鑑定評価及び用地測量を行った。

**問** 今年度予定している事業内容は。

**答** 市道幹線6号の交差点部分の物件調査を実施した地権者の用地買収及び移転補償を予定している。

**問** 今年度予算の土地購入費及び補償費の対象の内容は。

**答** 高麗川駅東口通線と幹線6号の交差点改良に伴う交差点部分の拡幅用地の取得及びそれに伴う物件補償を予定している。

**問** 市道幹線6号から駅前広場までの整備スケジュールは。

**答** 今年度から幹線6号との交差点部分の用地の取得を始め、交差点から駅に向かう道路右折帯を含む用地の協力を得られた地権者から取得する予定である。

**問** 東地区を含む、駅周辺の地域は、日高市立地適正化計画でどのような位置付けとなるのか。

**答** 駅周辺の地域は市街化区域で居住誘導区域となることが想定され、都市機能誘導区域については、今後、病院、商業施設、社会福祉施設等の分布状況を精査し、区域を検討する予定である。

**問** 駅東口及び都市計画道路の整備が目に見える形で動き出すのはいつ頃か。

**答** 来年3月末までに幹線6号及び市道B338号線の交差点部分の用地を取得し、工事を実施する時期までは、将来的な道路形態で安全対策を施していく。来年度以降、整備に向けた事業用地を順次取得していくので、事業が、少し進展してきたと感じられると考える。



改良される幹線6号交差点



# 議会だより編集委員会です



日高市議会では、議会の活動状況をお知らせするために“議会だより”を発行しています。議員7人による編集委員会を設け、編集作業を行い、発行しています。

読みやすく親しまれる紙面づくりに努めてまいります

（写真右から）

委員 佐藤 真  
委員 森崎 成喜  
委員 安藤 重男  
議長 大川戸岩夫  
委員長 吉本 新司  
副委員長 池田 和子  
委員 石井 幸良  
委員 田中まどか

よろしく  
お願いします



## 総務福祉 常任委員会

○6月1日(金) 議案第33号・平成30年度日高市一般会計補正予算(第1号)、議案第34号・平成30年度日高市介護保険特別会計補正予算(第1号)、議案第35号・日高市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例、議案第36号・日高市税条例の一部を改正する条例、議案第37号・日高市介護保険条例の一部を改正する条例を審査しました。

## 文教経済 常任委員会

○6月4日(月) 議案第33号・平成30年度日高市一般会計補正予算(第1号)、議案第38号・市道の路線の認定について、議案第39号・市道の路線の廃止についてを審査しました。

## 議会運営 委員会

○5月18日(金) 6月定例会の会期及び議会の運営等に関する調査をしました。

## 全員協議会

5月18日(金) 次の事項について市長から報告がありました。

- 報告事項**
- 日高市税条例等の一部改正について
  - 埼玉県西部地域まちづくり協議会への加入について
  - 宮沢ため池耐震診断等詳細調査について

6月14日(木) 次の事項について市長から報告がありました。

- 報告事項**
- 小規模企業の振興について
  - 人間西部衛生組合清掃センター整備工事請負契約の締結について

市長  
行政報告  
抜粋

子育て総合支援センターの  
利用状況について

総合福祉センター高麗の郷内に開設をいたしました子育て総合支援センター愛称「ぬくぬく」は、多くの親子にご利用をいただき、大変、好評を得ており、4月は、延べ850組、2千92人の利用がありました。

今後も、「ぬくぬく」で過ごす親子が、この愛称に込められておりますように、ぬくもりに包まれ、温かい気持ちになり、笑顔で過ごしていただけるような運営に努めてまいります。

健康づくりの各種事業について

6月10日に、生涯学習センターにおきまして、第39回健康まつりを開催いたしました。「楽しく体験 笑顔がやぐ 健康フェスタ」と題して、食生活や運動習慣に関

する体験コーナーを設けるなど、体験しながら健康に関する情報を知っていただけるイベントとしました。

また、昨年度からの継続事業で、歩いた歩数によりポイントを貯める埼玉県コバトン健康マイレージについては、今年度、新たな参加者を追加募集し、多くの市民の皆様に参加しながら健康づくりに取り組んでいただいております。

そのほか、一年を通して、健康をテーマにした教室等を実施いたします。今年度は新たに、歯周病に関する講演会を開催するなど、市民の皆様健康づくりの推進に、一層努めてまいります。

日高市消防団消防操法大会  
について

6月24日に飯能日高消防署屋外訓練場において、消防操法大会が開催され、上位3隊が7月1日の日曜日に同会場で開催される埼玉西部支部大会に出場しました。その内の上位1隊が、埼玉県大会に進み、20年ぶりとなる全国大会出場を目指します。

「子ども大学ひだか」  
について

5期目を迎えるこの事業は、埼玉女子短期大学のキャンパスを会場として、同短期大学及び飯能青年会議所とともに、市内の小学4年生から6年生までを対象に、全5回の体験ゼミとして、エステティシャン、パン屋さん、ホテルスタッフといった実際に働くプロの考え方や技術に触れる機会を用意しました。

こうした地域の教育力と連携をした、「子ども大学ひだか」は、次代を担う子どもたちの将来の目標探しにつながるものと期待をしております。

「川ガキ・山ガキ自然塾」  
について

3回目となるこの事業は、市内の小学5年生と6年生が、高麗郷古民家に宿泊し、豊かな自然の中での活動を通して、環境について学習するものです。

清流高麗川での川遊び、日和田山でのハイキング、野外での料理などを体験します。この体験は、他校の児童と交流を深める絶好の機会であ

るとともに、高麗郷の自然を肌で感じることで、より一層、日高市に愛着を持つてもらえるものと考えております。

広島市平和記念式典児童  
派遣事業について

平和啓発の取り組みとして、8月6日に広島市にて開催される、平和記念式典に市内の小中学生6人を派遣いたします。

式典に参加することにより、戦争の悲惨さと、平和の尊さを認識し、学んだことや感じたことを友達や家族に伝えていくことで、多くの市民の皆様が平和について考える機会となることと期待をしております。

防災訓練について

8月26日の日曜日に、防災訓練を実施いたします。訓練の内容は、震度6弱の地震を想定し、広報塔の合図により、行政区ごとに各世帯の安否を確認していただくものとしております。

また、訓練終了後には、ひだかアリーナにおいて防災講演会を開催いたします。

会期日程

第2回定例会は、次の日程で開かれました。

5月25日(金) 開会。市長

行政報告。会期の決定。

議長選挙。副議長選挙。

議会運営委員の選任。

常任委員の選任。議案

10件の提案説明。

5月26日(土)～30日(水) 休

会。

5月31日(木) 議案3件の

質疑・討論・採決。議

案7件の質疑・委員会

付託。

6月1日(金)～6日(水) 休

会。

(休会中に総務福祉常

任委員会、文教経済常

任委員会を開催し、付

託された議案を審査)

6月7日(木) 一般質問。

6月8日(金) 一般質問。

6月9日(土)～13日(水) 休

会。

6月14日(木) 議案7件の

委員長報告・質疑・討

論・採決。市長行政報

告。閉会。



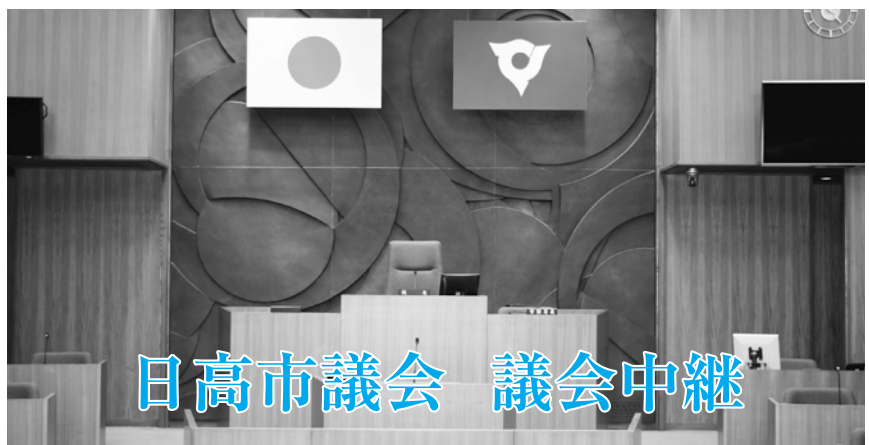
日高市議会の議場は、市役所の4階にあります。傍聴を希望される方は、4階の議会事務局で受付をしてから5階の傍聴席へお願いします。(傍聴席：写真上部の席)  
議員活動の状況や議会の様子を誰でも知れる良い機会なので、定例会(本会議)の際は、是非ともお越しください。

会期の日程(案)は、開会日の5日程前に、公民館、出張所、生涯学習センター等に掲示するとともに、市のホームページに掲載します。会期は、おおむね20日間です。

次の市議会定例会の開会日は、  
**8月28日(火)の予定です。**

## 市議会インターネット中継 (録画配信)

市議会では、本会議の映像を録画配信しています。傍聴に来られない人でも、本会議の映像を市ホームページ(市議会)からご覧いただけます！



中継録画は本会議終了後、およそ7日後(土曜日・日曜日・祝日を除く)までに配信しています。

(日高市 HP アドレス) <http://www.city.hidaka.lg.jp/>



日高市議会だより第102号は2万200部作成し、一部当たりの単価

は約12・70円です。

# 議会フォトピックス

## 市内の各事業取材してきました!



渡来人の郷フォーラム (6.2 生涯学習センター)



福祉スポーツ大会 (6.3 ひだかアリーナ)



日高市健康まつり (6.10 生涯学習センター)



日高市小・中学校及び日高高校、  
日高特別支援学校硬筆展覧会 (6.17～6.21 高麗の郷)



七夕の夕べ (7.7 高麗郷古民家)



合同企業説明会 (7.8 生涯学習センター)

### 編集後記

夏本番、暑い日が続いています。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

教育は共育ともいわれています。大人自身も子どもから学び、共に向上していかねばなりません。その第一歩は、子どもたちの声に全力で耳を傾けることです。

本年度も子ども議会が7月24日に開催されました。子ども議員の皆さんは、緊張した面持ちで議場に入場していましたが、質問の際には、堂々と演台に立ち、地域の問題など活発に自信をもって発言していました。私たち議員にとっても、大変よい刺激になり、日高市の明るい未来を感じる事ができました。

議会だより編集委員会も、5月に新たなメンバーでスタートしました。今後も、市民の皆様には、わかりやすく身近に感じていただけるよう、努力して参ります。

まだまだ暑い日が続きますが、子どもたちも夏休み、お盆など交流が盛んな時季にもなります。どうぞ有意義な夏をお過ごしください。